

知的障害のある人のこと

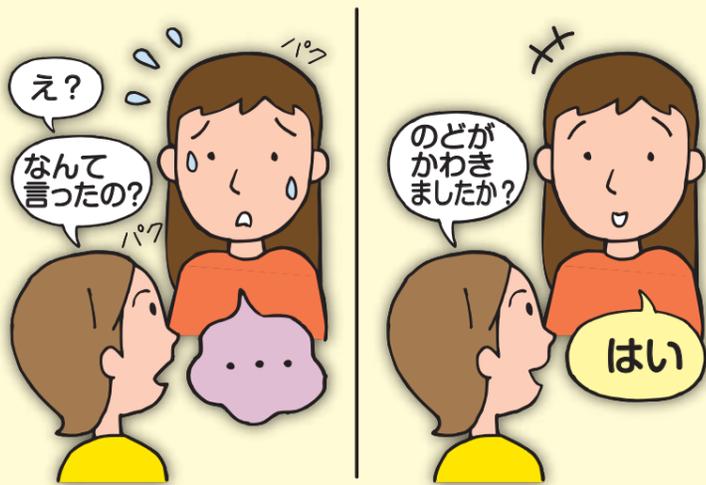
知っていますか？

知的障害とは？

18歳以前までの発達期にあらわれ、知的な能力が年齢に応じて発達していない状態です。そのため、仕事や勉強、コミュニケーションなど、普段の生活や社会生活に困難が出てきてしまいます。

自分の気持ちを伝えるのが苦手です

会話やコミュニケーションをするのに、話す言葉を間違えてしまったり、言い方を間違えてしまうことがあり、自分の言いたいことが相手にうまく伝わりません。

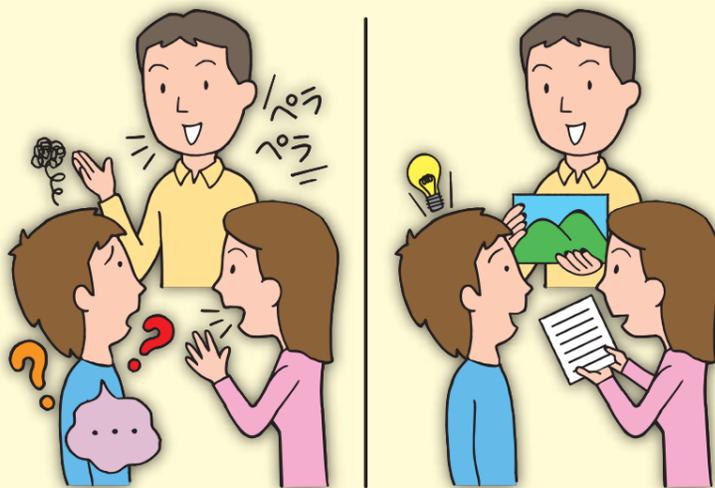


私たちがサポートできること

- 「はい」・「いいえ」などで答えやすいように、聞き方を工夫しましょう。
- 急がせず、落ち着いて言葉が出てくるのを待ってください。

相手の言っていることがわからないことがある

難しい会話がわからないだけでなく、早口で話されたり、同時にたくさんのことを言われたりすると、「わからない」となる原因になってしまいます。



私たちがサポートできること

- 短く、ゆっくりと話してみてください。
- 思っていることを具体的に、わかりやすい言葉で伝えてください。
- 言葉や文字だけでなく、身振り・絵・写真・メモなどを使ってみてください。

状況に合った行動が苦手です

ふだんと違う結果を想像することが苦手なため、いつもと違う出来事があると、うまく対応できないことがあります。例えば、急な予定変更でバスや電車が来ない時でも、気づかないでずっと待ってしまうことがあります。

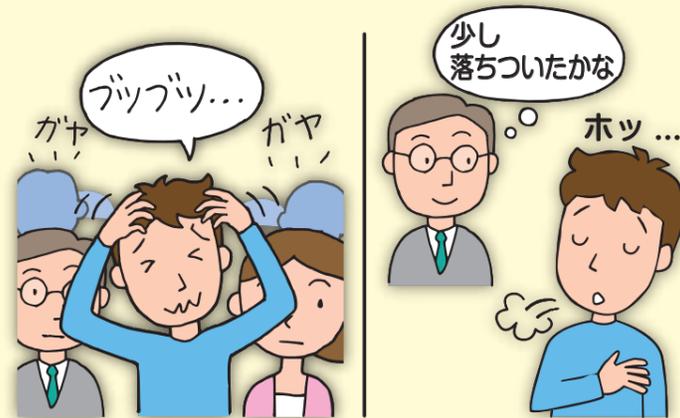


私たちがサポートできること

「今は〇〇です。どこへ行きますか？」など、状況を簡単に説明し、短い質問で話を聞いてください。理解と解決の近道になります。

気持ちを安定させるのが苦手です

自分の気持ちをうまく相手に伝えられず、気持ちを切り替える事が難しいです。そのため、緊張やイライラが起ると、安心できず不安になってしまい、混乱してしまうこともあります。



私たちがサポートできること

- 安心してリラックスできる静かな所、落ち着ける所が必要ですよ。
- 見守ることが大切です。

※各特性は、一例です。すべての知的障害の人に当てはまるものではありません。

知的障害のある人は、自分が困っていることをうまく伝えることができずに、誤解されたりトラブルに巻き込まれてしまうことがあります。周囲の人々の気づき・理解・協力・配慮があれば、安心して日常生活を送ることができます。